

平成 24 年度第 2 回目

平成 24 年 6 月 29 日（金）午前 10：30～11：30

会 次 第

議題①活動報告

議題②各棟の紹介

（概要）

議題①〈利用者行事等〉

○5/17 母の日・父の日 Oneday サロン

3 棟合同でボランティアからメイクアップやハンドケアを受けていただいた。男性には香りの足湯コーナーを設け、全員にカーネーションと記念撮影をお土産にプレゼントした。

○5/28 さつま芋の植え付け

園芸療法活動の一環として、毎年恒例のさつま芋の植え付けを行った。13 名が実際の作業に参加し、ほか十数名の方が見学した。

○6/20 ほぐし・リラクゼーションボランティア

〈地域交流〉

○5/15-17 吉田南中 3 年生 1 名の職場体験受けいれ。（すみれ棟）

○吉野中学校だより 6 月号に「エチケット袋寄贈」の紹介

〈職員関係〉

○5/14 食中毒予防に関する内部研修

内科管理栄養士を講師に、食事作りにかかわる衛生管理についての講義。

（環境衛生委員会主催）

○5/19 火災予防講話と救急救命講習～吉野分遣隊より

職員 17 名、地域住民 6 名参加し、「救命入門コース修了証」が配布された。

○6/6 「人工肛門」に関する内部勉強会 (9 名参加)

○6/12 「薬～認知症と高血圧」に関する内部勉強会 (16 名参加)

○6/15 「接遇」に関する法人内研修 (10 名参加)

〈ヒヤリハット、事故とその対応〉

平成 24 年 1 月～6 月

（一覧表別紙）

*時間帯で見ると、日勤帯 30 件、夜勤帯起床時 9 件、夜勤帯就寝前/中 8 件。

*棟によって件数に差がある。

*受診事故のケースは、それ以前にヒヤリハット等の軽微な事故を経験している。

議題②

○あやめ棟；81～95歳の9名の方の好きな活動は、時代劇や歌番組の視聴、散歩で、日常的に調理・掃除・買い物・洗濯物たたみなどにも意欲的に参加している。また、地域行事の運動会やお花見等のイベントも楽しまれ、歌が好きでおしゃべりが絶えないのが特徴。創作活動の得意な職員がおり、季節に合わせた掲示物を利用者と一緒に製作している。

支援の中で困ることでは、車椅子使用の方が1人で歩こうとされ、その際は歩行訓練として一緒に歩くようにしている。職員は女性8名、男性1名。これからも明るい雰囲気職員が利用者とともに作っていけるよう頑張りたい。

○さくら棟；80～92歳の利用者を、男性2名、女性7名の職員で支援。いつも食卓が職員の自宅から摘んできた花で飾られている。大人しく穏やかな利用者が多く、晴天の日は外でお茶や散歩をして過ごし、花壇の手入れなどをすることもある。ご家族の面会が多く、食事介助や他のご利用者とのコミュニケーションにもはいつて下さり感謝している。やはり家族と顔を合わせることで笑顔が増えると感じる。

最近の困った例としては、帰宅願望の有る方と大声を出す方。前者へは一緒に外を歩いたり話を聞くなどし、後者へは声かけやボディタッチで安心してもらえるような対応を行なっている。今後も利用者のご家族に安心して過ごしてもらえるような介護を全職員で提供していきたい。

○すみれ棟；平成15年に開所し、9年経つ。9名とも女性。最年長の97歳から78歳までのうち、今年は4名が90歳以上である。車椅子使用者が多い為、介助スペースの確保やトイレ誘導のタイミングに苦心する。困難事例として、短期記憶障害による帰宅願望のある方が最近入所し、環境変化へのフォローが急務。また、医療的な部分では、人工肛門のある方への排泄ケア、I型糖尿病の方への食事／運動療法とインシュリンの管理に神経を使う。職員は男性2名、女性6名のうち2名が看護師資格を持っている。

日常的には、集団でクや合唱を楽しんだり、ドライブで馴染みの場所を回ったりすることが多い。「私にできる事があれば」「役に立ちたい」という声もあり、食後の洗い物やお盆拭き、ゴミ箱折りをされる。先日はご家族の協力を得て川辺への里帰りをした方もいる。吉野中へのエチケット袋作りをする方は「生きがいを感じる」ということである。

以上